

新たな総合計画と 行財政改革について

平成27(2015)年8月23日(日)

川崎市長 福田 紀彦



まちを好きな人が多いと、まちは良くなる！

川崎市

総合計画とは？

市政運営の基礎となるもの

- これからの川崎のめざす姿やまちづくりの方向性を示す、市政運営の基礎となる総合的な計画
- 川崎市自治基本条例第15条

議会の議決が必要な重要なもの

- 川崎市議会基本条例第8条

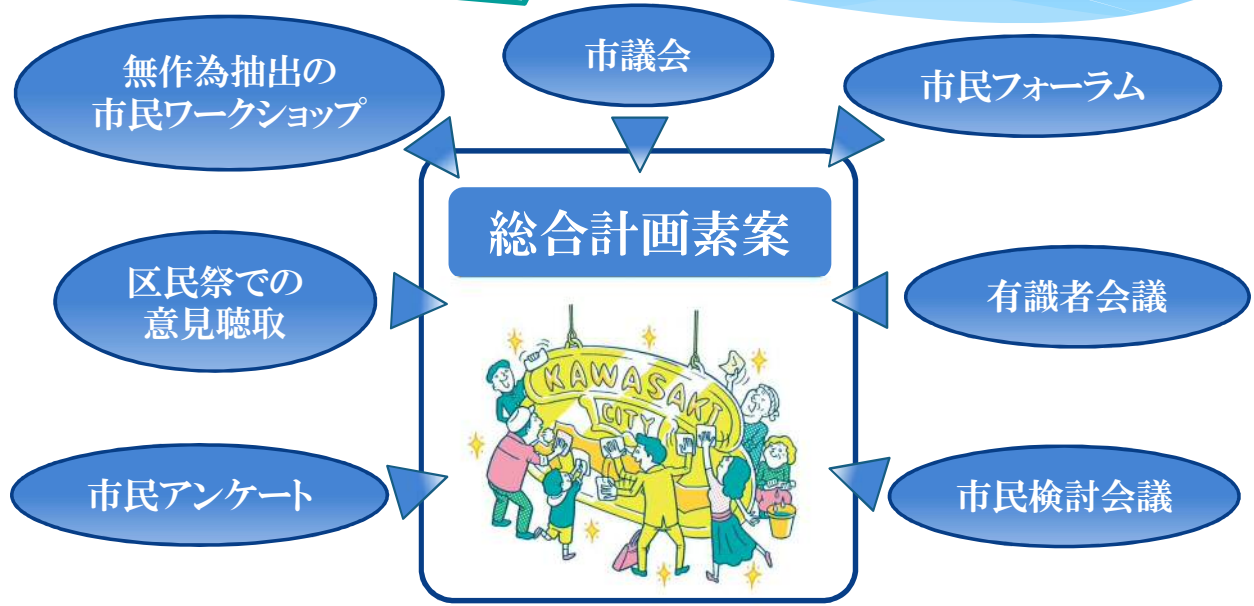
皆の力で創りあげるもの

- 川崎をもっともっと住みやすいものとするために、市民の皆様と共に、このまちを創りあげていきたい



新たな総合計画素案ができるまで

素案の段階から市民と共に創り上げるべきと考え、本市としては初の無作為抽出による区民ワークショップや、区民祭等における特設ブースでの意見聴取など、市民の皆様との対話を大切に、新たな方法にチャレンジしながら策定を進めてきました。



新たな総合計画の特徴



施策の「成果」を重視

- 市民生活の変化を実感できる「成果指標」の導入
- 市民生活の向上に直結する「直接目標」を位置づけ

シンプルで分かりやすい

- 再掲事業が多く複雑だった「政策体系」の簡素化
- 実施計画における重点戦略の明確化
- 実施計画では掲載事業を精選

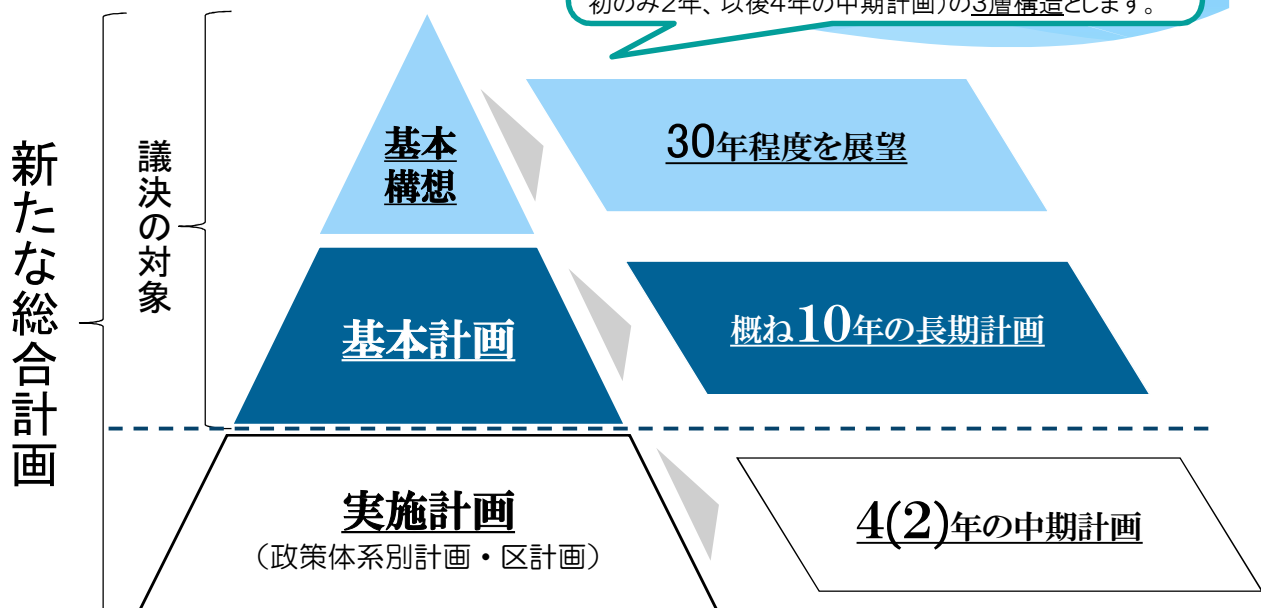
実行性の高い計画

- 別冊でその他の事業も含め、全事務事業を管理
- 地域課題の解決に向けた区計画

5

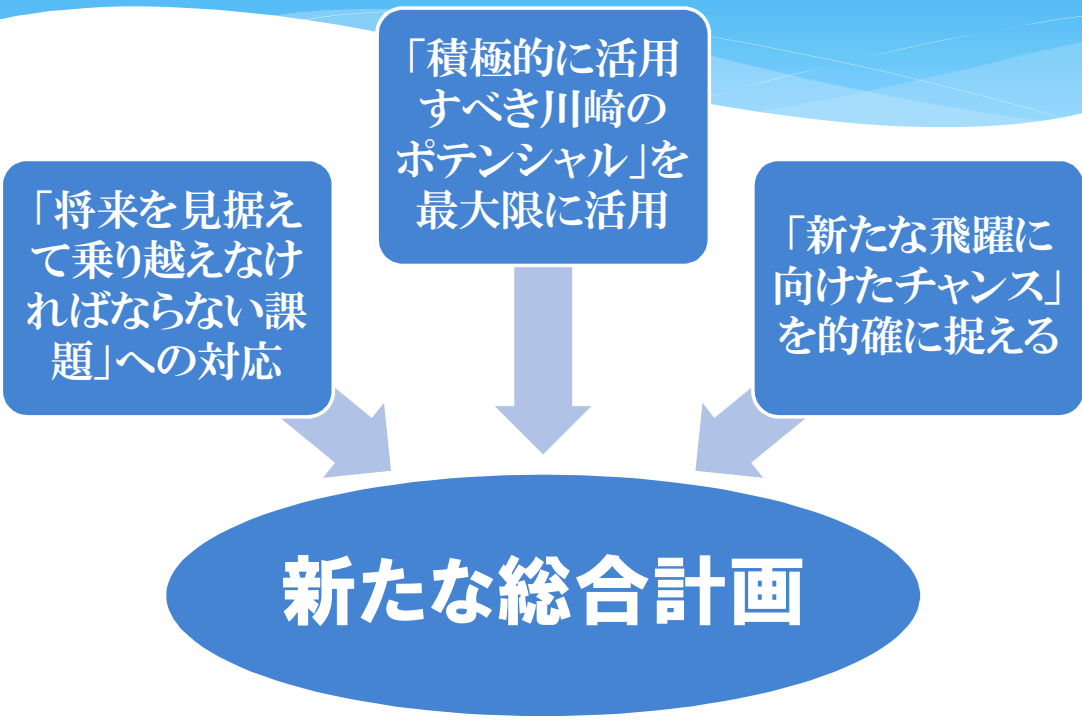
新たな総合計画の構成と目標年次

30年程度を展望し、めざす都市像などを示す「基本構想」、概ね10年を対象とし、政策の方向性を示す「基本計画」、財源の裏づけがあり、実行性の高い「実施計画」(最初のみ2年、以後4年の中期計画)の3層構造とします。



6

計画策定にあたっての基本認識

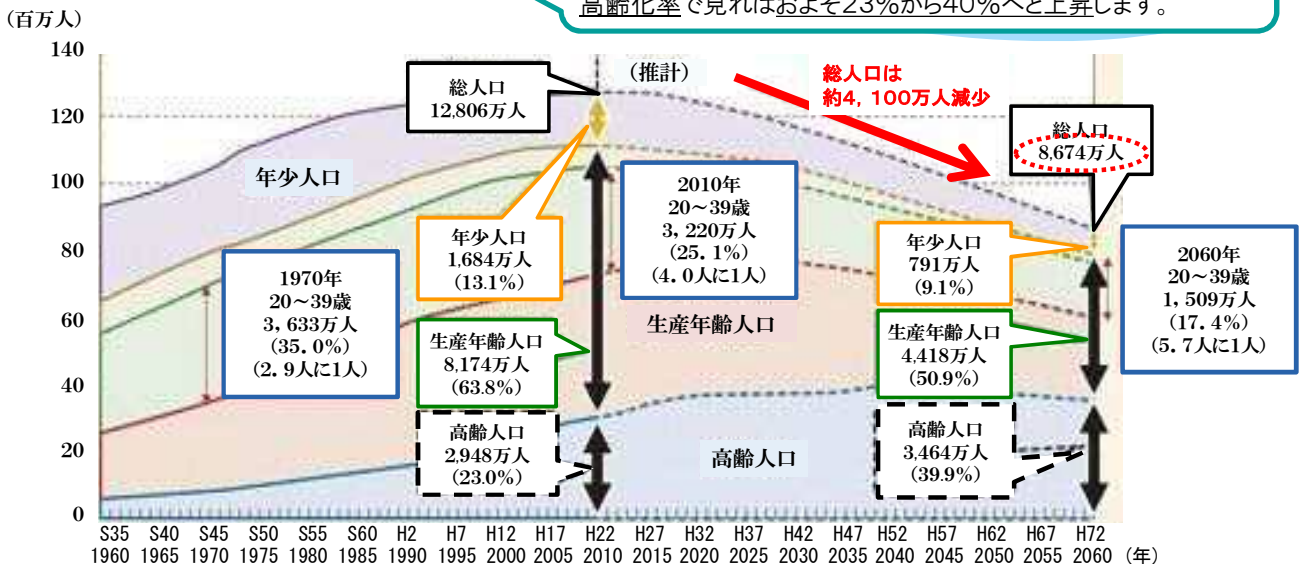


(1) 将来を見据えて乗り越えなければならない課題

少子高齢化・人口減少への転換

日本の将来人口・年齢別人口

平成72年には、65歳以上人口は約500万人増加するのに対し、日本の総人口は約4,100万人減少、高齢化率で見ればおよそ23%から40%へと上昇します。



(注) 1 「年少人口」は0～14歳の者の人口、「生産年齢人口」は15～64歳の者の人口、「高齢人口」は65歳以上の者の人口

2 ()内は年少人口、生産年齢人口、高齢人口がそれぞれ総人口のうち占める割合

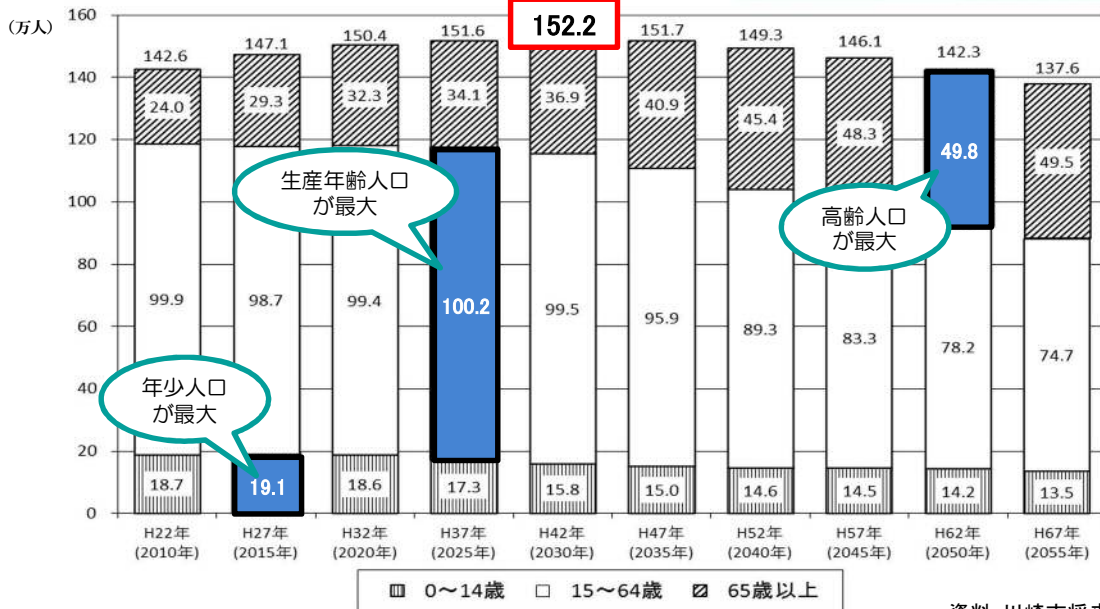
資料:平成24年度版国土交通白書

(1) 将来を見据えて乗り越えなければならない課題

少子高齢化・人口減少への転換

川崎市の将来人口推計

一方川崎市では、平成42年まで人口が増加するものの、少子高齢化は進行し、平成42年をピークとして人口減少へ転換します。



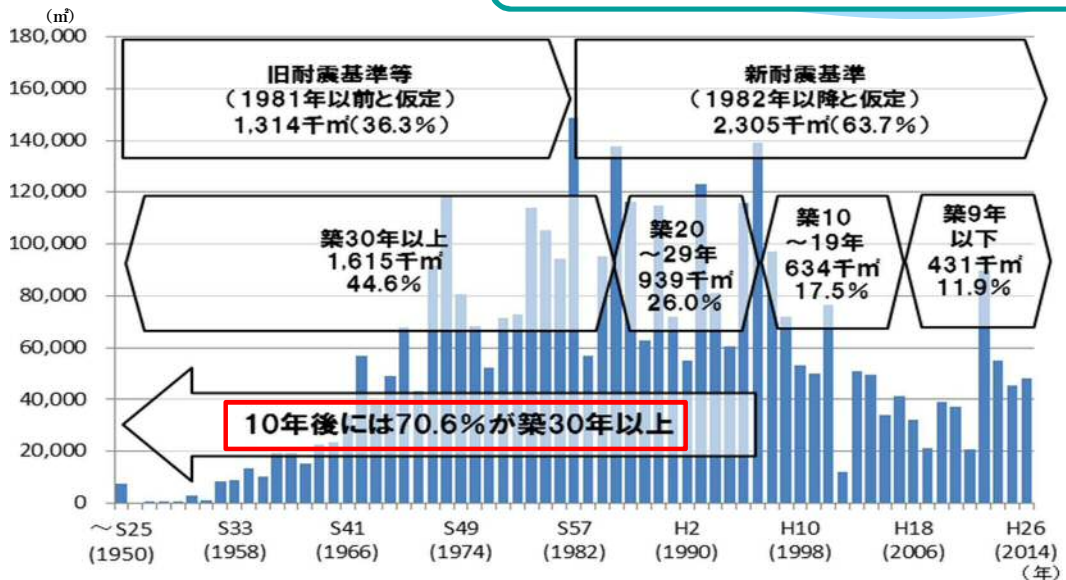
資料：川崎市将来人口推計

(1) 将来を見据えて乗り越えなければならない課題

都市インフラの老朽化

公共建築物の建築年別延床面積

10年後には公共建築物の約7割が築30年以上となるなど、施設の老朽化が進み、その対応として今後、集中的な大規模修繕や更新が必要となります。



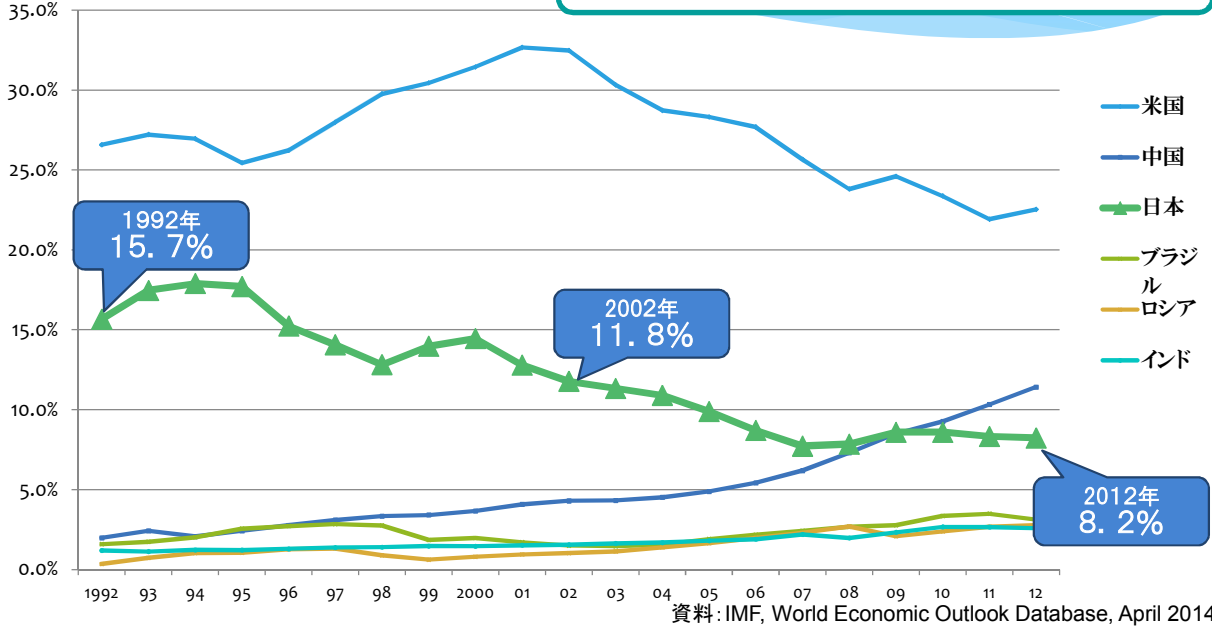
※企業会計施設を除く 資料：「かわさき資産マネジメントカルテ」から時点修正

(1) 将来を見据えて乗り越えなければならない課題

産業経済を取り巻く環境変化

世界のGDPに占める比率の推移

新興国の経済成長等により、日本のGDPシェア(名目)は20年間で約半減しています。

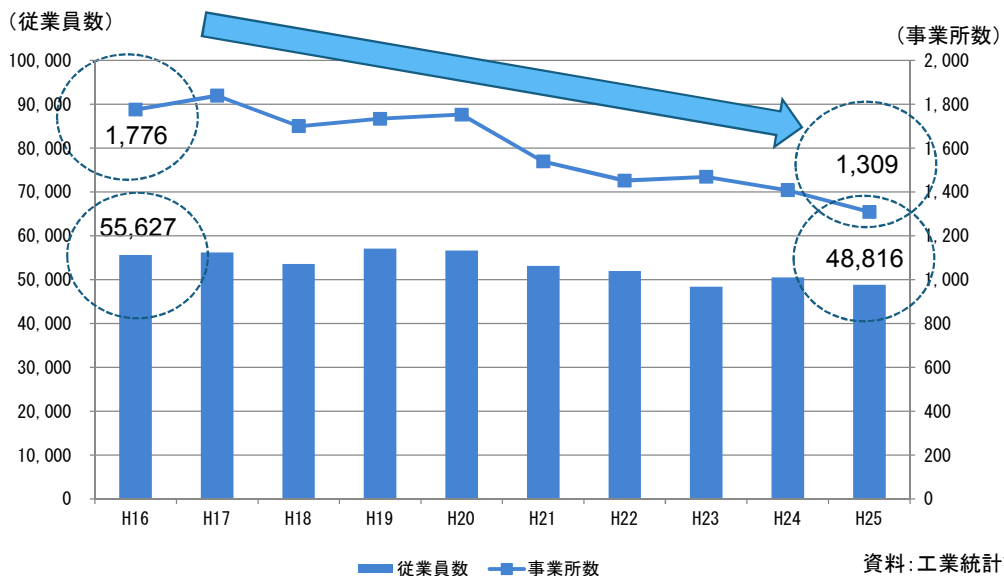


(1) 将来を見据えて乗り越えなければならない課題

産業経済を取り巻く環境変化

製造業における川崎市の事業所数及び従業者数の推移

10年間で、事業所数は467所(26.3%)、従業者数は6,811人(12.3%)減少しています。



(1) 将来を見据えて乗り越えなければならない課題

災害や環境などの重要な課題

過去の災害や世界の気温上昇



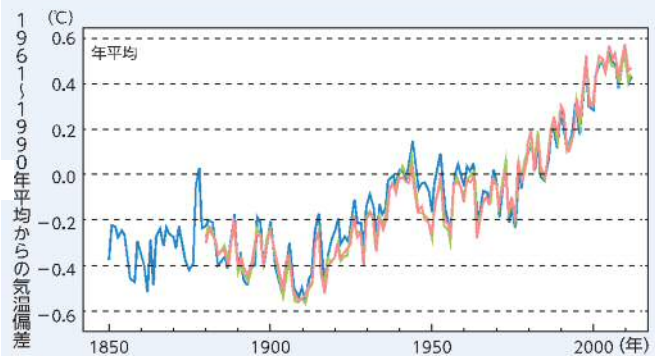
阪神・淡路大震災の様子 写真:神戸市役所



大雨による道路冠水の様子 写真:総務省

日本は、世界で発生する地震の約1割が起こる地震大国であるとともに、地球温暖化に関連して集中的な大雨が増加傾向にあり、引き続き、自然災害や地球温暖化等への対応が必要です。

観測された世界の平均地上気温（陸域+海上）の偏差（1850～2012年）



— 英国気象庁による解析データ (HadCRUT4)
— 米国海洋大気庁国立気候データセンターによる解析データ (MLOST)
— 米国航空宇宙局ゴダード宇宙科学研究所による解析データ (GISS)

注: 偏差の基準は1961～1990年平均

資料: IPCC第5次評価報告書第1作業部会報告書より環境省作成

(2) 積極的に活用すべき川崎のポテンシャル

交通・物流の利便性

充実した交通ネットワーク

新幹線や羽田空港等へのアクセスしやすいなど、利便性の高い交通ネットワークが構築されている。特に、鉄道駅が53駅あり、政令指定都市で2番目に鉄道駅密度が高い便利な都市です。

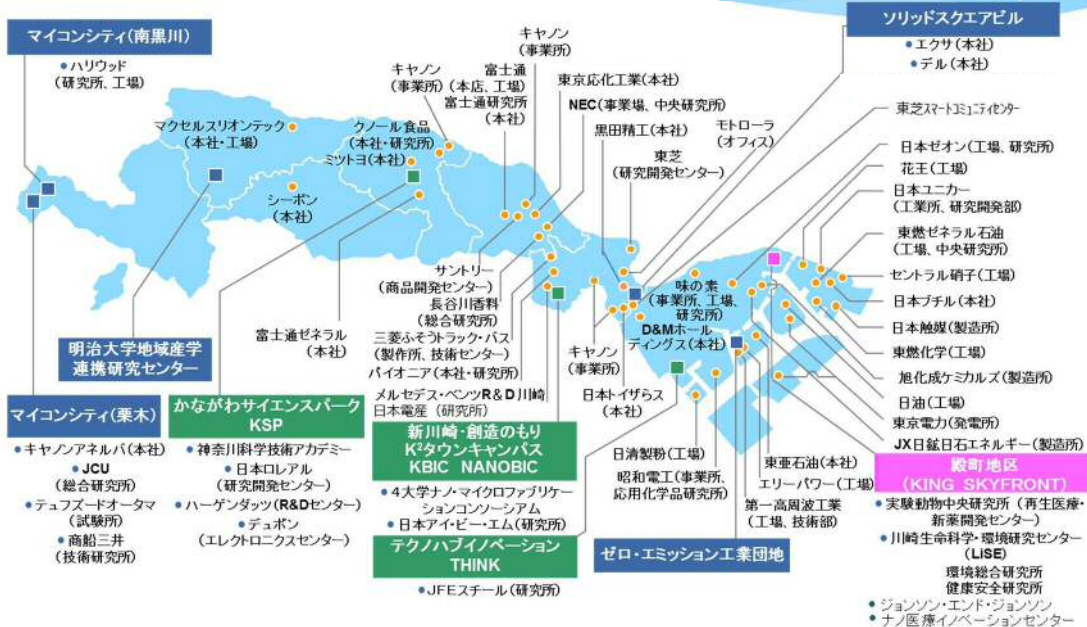


(2) 積極的に活用すべき川崎のポテンシャル

先端産業・研究開発機関の集積

主要企業と研究開発機関の立地

200以上の研究開発機関が立地し、平成24年には学術・開発研究機関の従業者割合が政令指定都市でトップとなるなど、産業振興・イノベーションを推進する基盤があります。



(2) 積極的に活用すべき川崎のポテンシャル

豊富な文化・芸術資源

文化・芸術・スポーツ資源

市内には、多くの音楽施設や文化施設、スポーツ資源があり、これらに関わる市民の割合も多くなってきています。

音楽のまち・スポーツのまち



魅力的な文化施設



消費生活の動向 (平成21~23年平均)



川崎市で特化係数の高い職業

(※特化係数は、全国の割合に対する本市の割合で、1.0を超えると集積の高さを示す。)

順位	総数	
	産業中分類	特化係数
1	音楽家、舞台芸術家	2.91
2	技術者	2.53
3	著述家、記者、編集者	2.45
4	美術家、デザイナー、写真家、映像撮影者	2.25
5	研究者	2.00
6	居住施設・ビル等管理人	1.82
7	経営・金融・保険専門職業従事者	1.76
8	営業・販売事務従事者	1.56
9	事務用機器操作員	1.54
10	法務従事者	1.44

資料：総務省家計調査

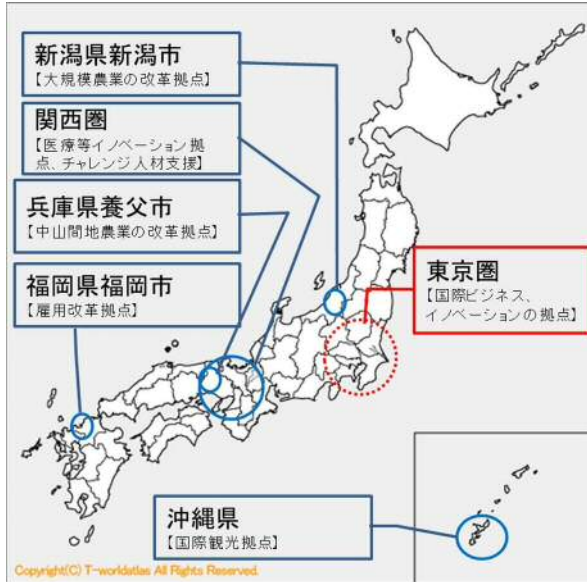
資料：平成22年国勢調査

(3) 新たな飛躍に向けたチャンス

国の成長戦略や 2020年東京オリンピック・パラリンピック

国家戦略特区と東京五輪への期待

「国際ビジネス・イノベーションの拠点」として、本市全域を含む東京圏が指定された国家戦略特区や、2020年開催予定の東京五輪は、本市の飛躍のチャンスと言えます。



東京大会を契機に期待する社会変化

期待の高い分野

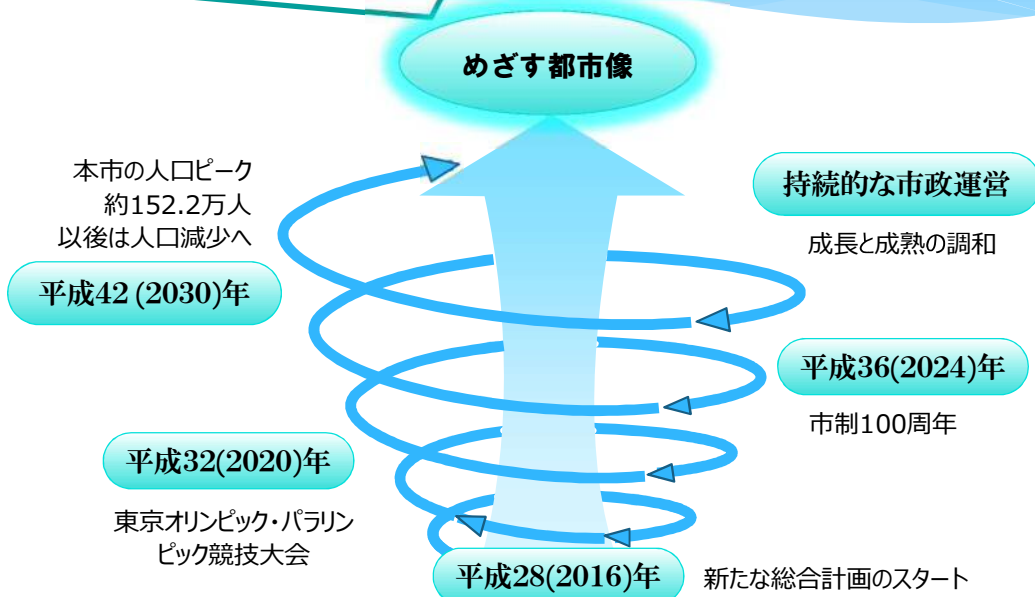
- | | |
|-------------|---------------|
| 1位 観光・地域活性化 | 4位 (安全)レジリエンス |
| 2位 国際交流・平和 | 5位 環境 |
| 3位 健康増進 | 6位 復興 |



注:重視すべき順位を1〜10位まで回答したデータについて1位10点、2位9点...10位1点として点数化
資料:三菱総合研究所「オリンピックレガシーに関する意識調査」(平成26(2014)年1月)

計画推進にあたって、 重要な節目となる年次及びポイント

新たな総合計画では、課題・ポテンシャル・チャンスを踏まえ、約5年後に訪れる「東京オリンピック・パラリンピック競技大会」、約10年後に訪れる「市制100周年」、そして、約15年後に訪れる「人口減少への転換」を重要な節目となる年次と設定し、川崎のめざす都市像を実現します。



めざす都市像とまちづくりの基本目標

めざす都市像

- 「成長と成熟の調和による持続可能な最幸のまちかわさき」

まちづくりの基本目標

- 「安心のふるさとづくり」
- 「力強い産業都市づくり」

災害対策
高齢・障害者施策
子育て環境整備など

産業振興・
都市拠点整備・
交通施策など

19

基本政策 1

生命を守り生き生きと暮らすことができるまちづくり



20

守られて安全。 つながり合って安心。



自然災害への対策はもちろん、
いざという時に助け合える
「顔の見える関係」づくりを
サポートします。

政策

災害から生命を守る

- 災害・危機事象に備える対策の推進
- 地域の主体的な防災まちづくりの推進
- まち全体の総合的な耐震化の推進
- 消防力の総合的な強化
- 安全、安心な暮らしを守る河川整備

安全に暮らせるまちをつくる

- 防犯対策の推進
- 交通安全対策の推進
- ユニバーサルデザインのまちづくりの推進

水の安定した供給・循環を支える

- 安定給水の確保と安全性の向上
- 下水道による良好な循環機能の形成

成果指標の例

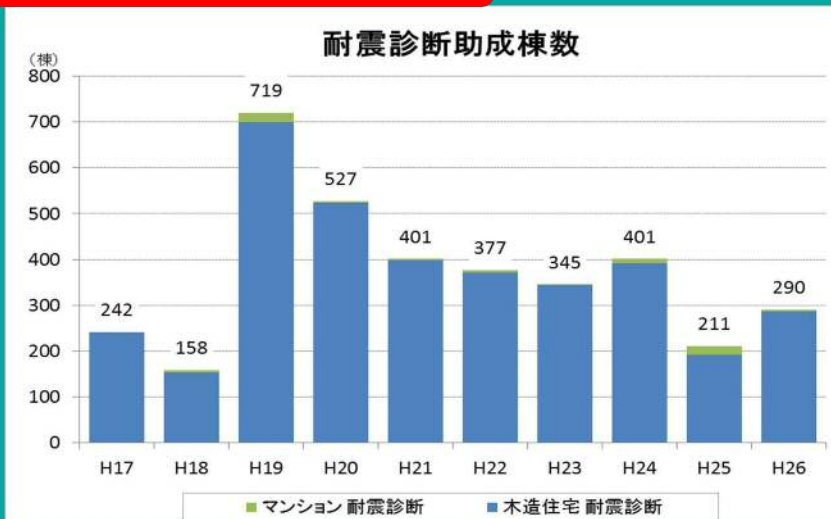
市民の実感指標	現状	目標
災害に強いまちづくりを進めていると思う市民の割合	15.6%	25%

直接目標
地震発生時の建築物の倒壊による被害を減らす

市民の実感
※他政令指定都市と比較して目標設定

施策ごとの成果指標：住宅の耐震化率

客観的指標



資料：まちづくり局調べ

住み慣れたまちで、 生きられる幸せ。

政策

誰もが安心して暮らせる地域のつながり・しくみをつくる

総合的なケアの推進

高齢者福祉サービスの充実

高齢者が生きがいを持てる地域づくり

障害福祉サービスの充実

障害者の自立支援と社会参加の促進

誰もが暮らしやすい住宅・居住環境の整備

生き生きと暮らす健康づくりの推進

確かな暮らしを支える

確かな安心を支える制度の運営

自立生活に向けた取組の推進

市民の健康を守る

医療供給体制の充実・強化

信頼される市立病院の運営

健康で快適な生活と環境の確保



超高齢社会でも、
生き生きと安心して暮らし
続けられるしくみをつくれます。

成果指標の例

市民の実感指標

現状

目標

高齢者や障害者が生き生き
と生活できるような環境が
整っていると思う市民の割合

20.7%

25%

直接目標

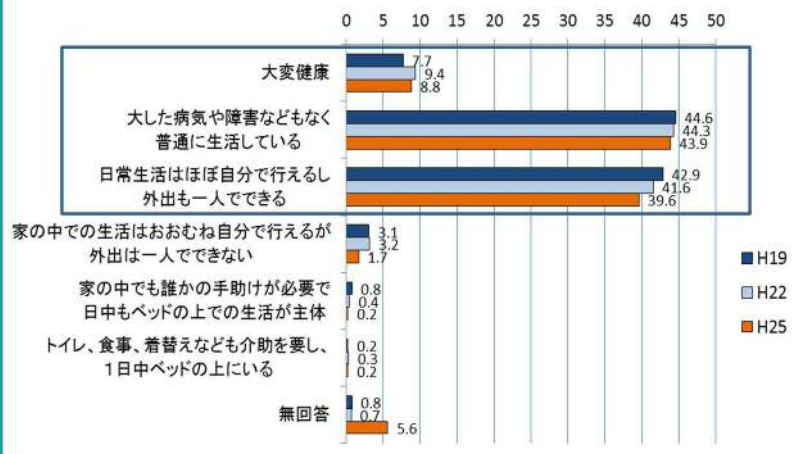
多様な主体による地域での支え合いのしくみをつくる

市民の実感
※他政令指定都市と
比較して目標設定

施策ごとの成果指標：日常生活に支障がない高齢者の割合

客観的指標

日常生活に支障がない高齢者の割合



* 要介護・要支援認定を受けていない高齢者（虚弱な高齢者も含まれる）を対象とした調査
資料：川崎市高齢者実態調査

基本政策 2

子どもを安心して育てることのできる ふるさとづくり



2 子どもを安心して育てることのできるふるさとづくり

子育ても、 まちぐるみなら安心。



「子育てするなら川崎！」と思ってもらえるような、
安心して子育てできる環境づくりを進めます。

政策

安心して子育てできる環境をつくる

子育てを社会全体で支える取組の推進

質の高い保育・幼児教育の推進

子どものすこやかな成長の促進

子どもが安心して暮らせる支援体制づくり

成果指標の例

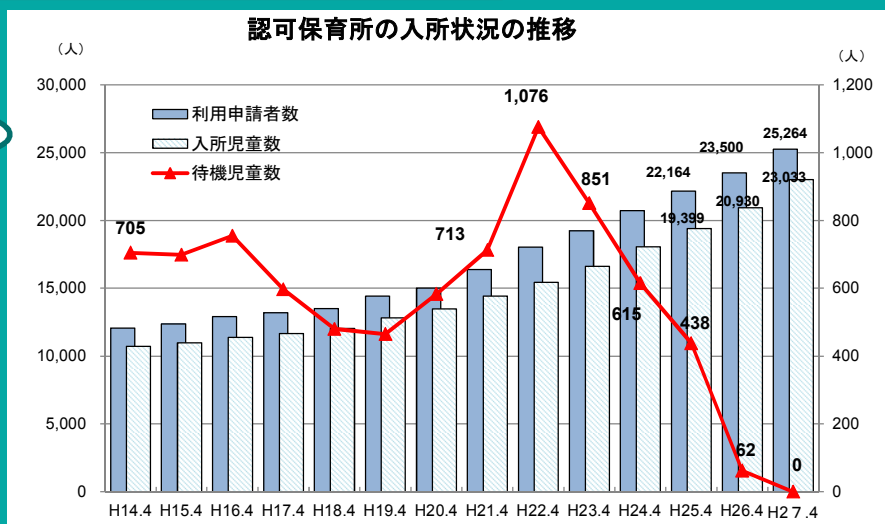
市民の実感指標	現状	目標
子育て環境の整ったまちだと思う市民の割合	26.9%	35%

直接目標
子どもを安心して預けられる環境を整える

市民の実感
※他政令指定都市と比較して目標設定

施策ごとの成果指標：待機児童数

客観的指標



夢に向かって、 ひとつ飛び！

夢に向かって歩き出す、
子どもたちの未来を拓く
学びを応援します。

政策

未来を担う人材を育成する

- 「生きる力」を伸ばし、人間としての在り方生き方の軸をつくる教育の推進
- 一人ひとりの教育的ニーズへの対応
- 安全で快適な教育環境の整備
- 学校の教育力の向上



成果指標の例

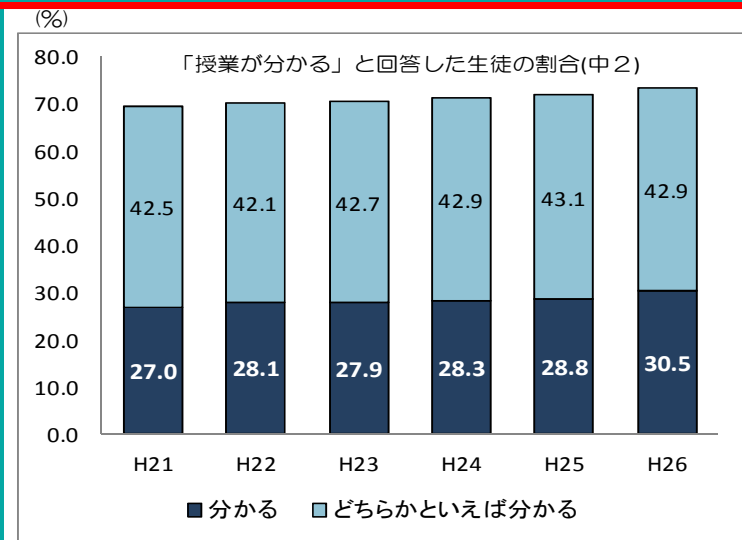
市民の実感指標	現状	目標
「将来の夢や目標を持っている、どちらかといえば持っている」と回答した児童の割合(中3)	69.7%	75%

直接目標
すべての子どもが社会で自立して生きていくための基礎を培う学校をつくる

市民の実感
※他政令指定都市と比較して目標設定

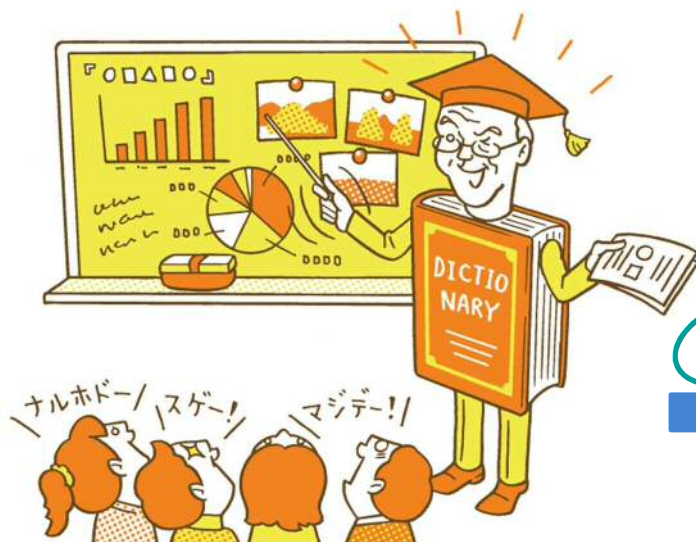
施策ごとの成果指標:「授業が分かる」と回答した児童生徒の割合

客観的指標



※ 国語、算数、理科、社会の平均値 資料：市学習状況調査

頼りにされるという、生きがい。



いつまでも学びたいという気持ちや、生きがいを応援するためのネットワークをつくります。

政策

生涯を通じて学び成長する

家庭・地域の教育力の向上

自ら学び、活動するための支援

成果指標の例

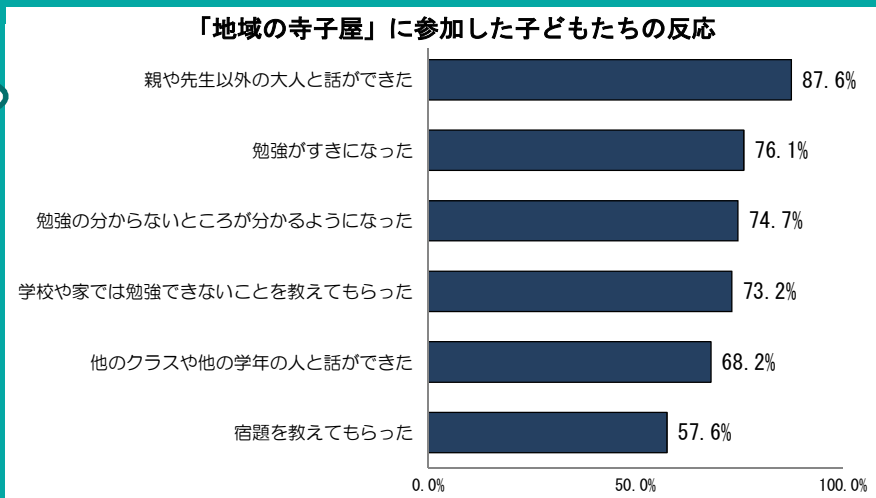
市民の実感指標	現状	目標
自分の知識や技術を地域や社会に活かしたいと思う市民の割合	50.8%	55%

直接目標
大人と子どもなど、地域での多世代の交流を増やすとともに、家庭教育の悩みを軽減する

市民の実感
※他政令指定都市と比較して目標設定

施策ごとの成果指標：親や教員以外の地域の大人と知り合うことができた割合（児童）

客観的指標



資料：寺子屋参加児童アンケート（平成26年度）

基本政策 3

市民生活を豊かにする環境づくり



気づけば誰でも エコライフ。

地球環境に配慮し、
市民一人ひとりの
エコな行動を当たり前の
ものにしていきます。

政策

環境に配慮したしくみをつくる

地球環境の保全に向けた取組の推進

地域環境を守る

地域環境対策の推進

持続可能な循環型のまちをめざした
取組の推進



成果指標の例

市民の実感指標

ごみの分別や資源のリサイクルなど、ごみを減らす取組を行っている市民の割合

現状

86.6%

目標

90%

直接目標

廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用を進める

市民の実感
※他政令指定都市と
比較して目標設定

施策ごとの成果指標：1人1日あたりのごみ排出量

客観的指標



資料：環境局調べ

まちを歩けば、 リフレッシュ！



多摩川や貴重なみどりを守り
誰もが安らぎ、くつろげる
環境づくりを行います。

政策

緑と水の豊かな環境をつくりだす

協働の取組による緑の創出と育成

魅力ある公園緑地等の整備

多摩丘陵の保全

農地の保全・活用と「農」とのふれあいの推進

多摩川の魅力を活かす総合的な取組

成果指標の例

市民の実感指標

市内にある自然(緑地、河川
など)や公園に満足している
市民の割合

現状

44.4%

目標

50%

直接目標

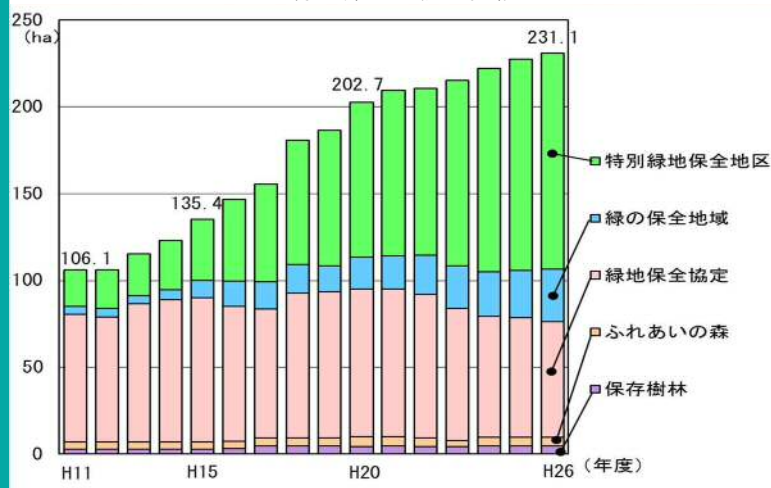
緑地、里山を再生、保全し、次世代に継承する

市民の実感
※他政令指定都市と
比較して目標設定

施策ごとの成果指標：緑地保全面積

客観的指標

緑地保全面積の推移



資料：建設緑政局調べ

基本政策 4

活力と魅力あふれる力強い都市づくり



37

4 活力と魅力あふれる力強い都市づくり

世界に広がるMade in KAWASAKI!



政策

川崎の発展を支える産業の振興

アジアを中心とした海外での
事業展開支援の強化

魅力と活力のある商業地域の形成

中小企業の競争力強化と活力ある産
業集積の形成

都市農業の強みを活かした農業経営の強化

新たな産業の創出と革新的な技術による生活利便性の向上

ベンチャー支援、起業・創業の促進

地域を支える産業の育成・市内事業者
等の新分野への進出支援

科学技術を活かした研究開発基盤の強化

スマートシティの推進

ICT(情報通信技術)の活用による市
民利便性の向上

生き生きと働き続けられる環境をつくる

就業と人材活用を推進するしくみづくり

世界をリードする川崎のビジネスを、
力強くサポートします。

臨海部を活性化する

臨海部の戦略的な産業集積と基盤整備

広域連携による港湾物流拠点の形成

市民に開かれた安全で快適な臨海部
の環境整備

38

成果指標の例

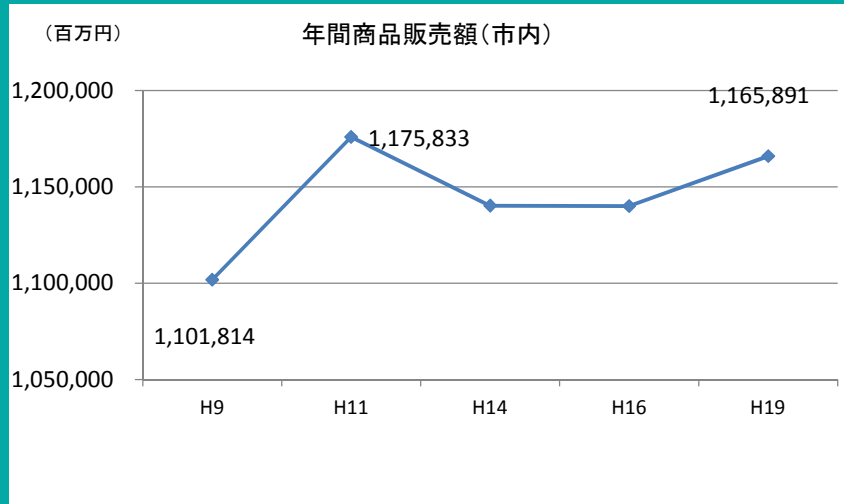
市民の実感指標	現状	目標
市内産業に活力があり、事業者が元気なまちだと思う市民の割合	28.3%	35%

直接目標
魅力ある商業地域の形成や付加価値が高く競争力のある商品の供給を進め、商業を活性化させる

市民の実感
※他政令指定都市と比較して目標設定

施策ごとの成果指標：年間商品販売額

客観的指標



資料：商業統計調査

つながる便利。ひろがる快適。

政策

魅力ある都市拠点を整備する

- 魅力にあふれた広域拠点の形成
- 個性を活かした地域生活拠点等の整備

良好な都市環境の形成を推進する

- 安全で安心して快適に暮らせる計画的なまちづくりの推進
- 地域の主体的なまちづくりの推進

総合的な交通体系を構築する

- 広域的な交通網の整備
- 市域の交通網の整備
- 身近な交通環境の整備
- 市バスの輸送サービスの充実



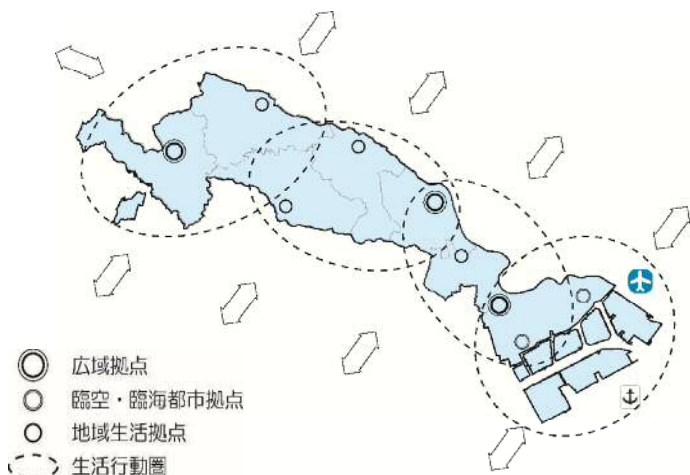
首都圏の中で便利につながり、魅力ある暮らしやすいまちをつくります。

都市構造と交通体系

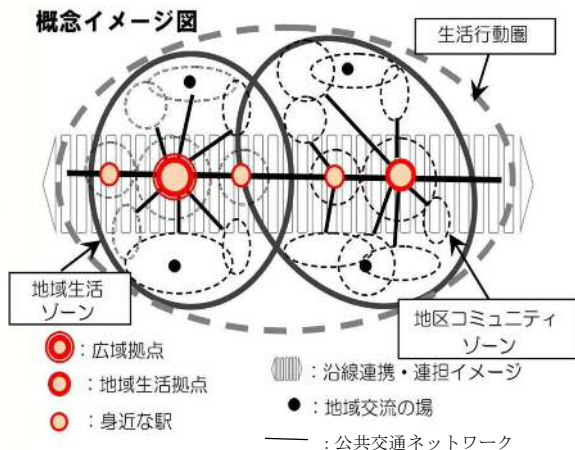
今後の方向性

本市はこれまで、近隣都市と適切に役割を分担しながらまちづくりを進めてきましたが、今後も引き続き、魅力と活力にあふれた広域調和型まちづくりを進めるとともに、身近な地域が連携した住みやすく暮らしやすいまちづくりに取り組みます。

都市構造イメージ図



概念イメージ図

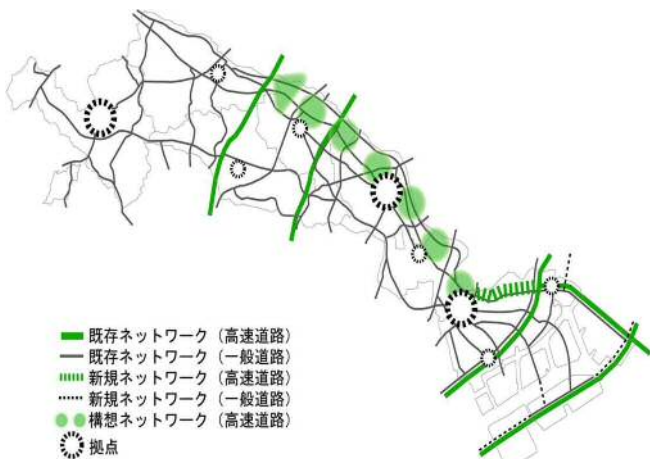


交通ネットワーク

今後の方向性

持続可能なまちづくりに向け、効率的、効果的な交通体系を構築する必要があります。広域的な交通網や市域の交通網の整備を進めるとともに、駅へのアクセス向上などの身近な交通環境の整備を進めます。

道路ネットワーク



鉄道ネットワーク



成果指標の例

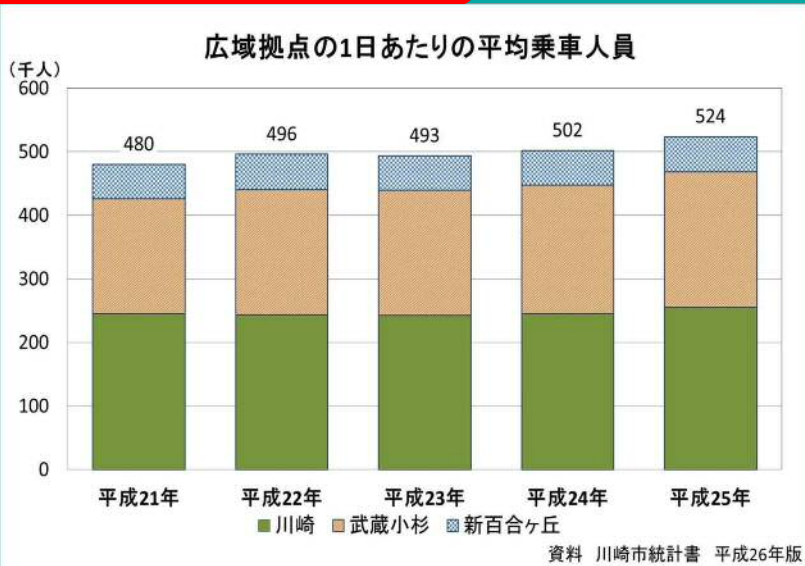
市民の実感指標	現状	目標
市内にある拠点駅(川崎駅・武蔵小杉駅・新百合ヶ丘駅)の周辺に魅力や活気があると思う市民の割合	70.0%	70%以上

直接目標
川崎・小杉・新百合ヶ丘駅周辺の魅力を高める

市民の実感
※他政令指定都市と比較して目標設定

施策ごとの成果指標：駅乗車の人員数

客観的指標



まちがステージ、みんなが主役！

スポーツや文化活動が盛んな
ワクワクできるまちを、未来へとつなぎます。



政策

スポーツ・文化芸術を振興する

- スポーツのまちづくりの推進
- 市民の文化芸術活動の振興
- 音楽や映像のまちづくりの推進

戦略的なシティプロモーション

- 都市イメージの向上とシビックプライドの醸成
- 川崎の特性を活かした観光の振興

成果指標の例

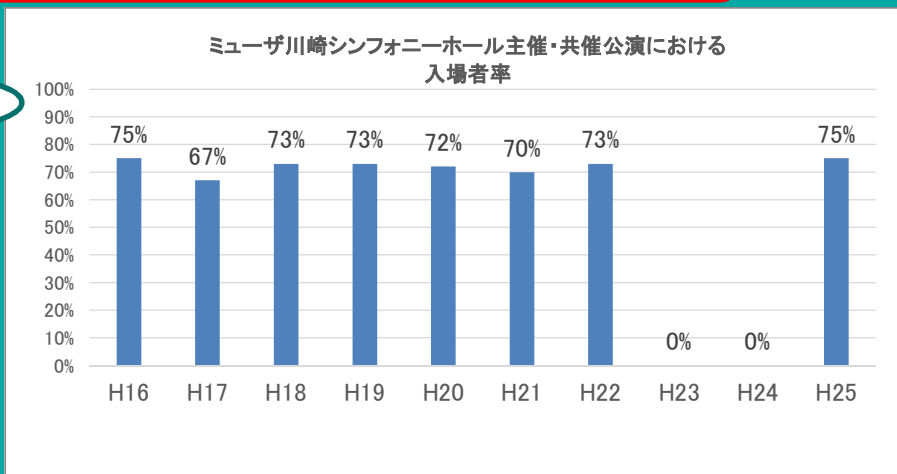
市民の実感指標	現状	目標
文化・芸術活動の盛んなまちだと思う市民の割合	48.0%	55%

直接目標
音楽や映像を活用して、都市の魅力向上や地域の活性化につなげる

市民の実感
※他政令指定都市と比較して目標設定

施策ごとの成果指標：ミュージア川崎シンフォニーホール
主催・共催公演における入場者率

客観的指標



資料：市民・こども局調べ
※平成23・24年度は東日本大震災の被害により休館

基本政策 5

誰もが生きがいを持てる市民自治の地域づくり



まちを好きな人が多いと、 まちは良くなる！

政策

参加と協働により市民自治を推進する

- 市民参加の促進と多様な主体との協働・連携のしくみづくり
- 市民の主体的な活動の促進
- 迅速で的確な広報・広聴と市民に開かれた情報共有の推進
- 便利で快適な区役所サービスの提供
- 区における地域課題への的確な対応

人権を尊重し共に生きる社会をつくる

- 平等と多様性を尊重した人権・平和施策の推進
- 男女共同参画社会の形成に向けた施策の推進



みなさんのまちづくりへの積極的な参加を応援し、
共に創りあげる地域社会をめざします。

成果指標の例

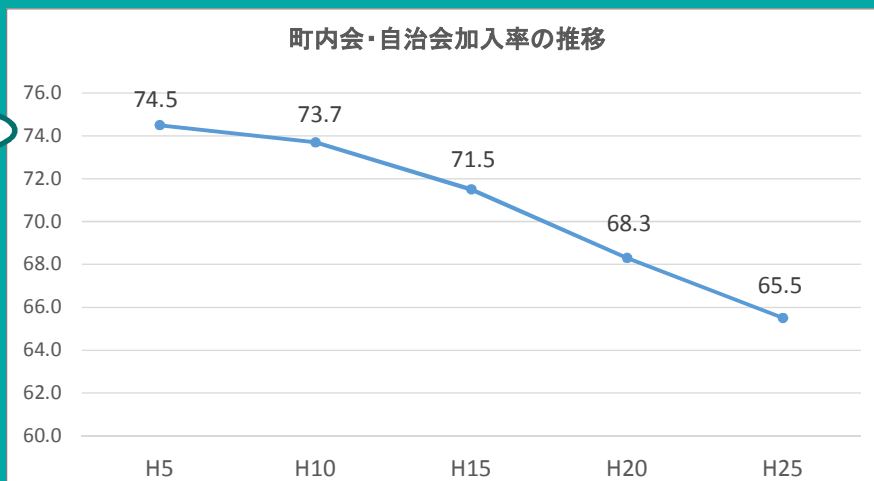
市民の実感指標	現状	目標
町内会や市民活動など、 地域での活動に参加している 市民の割合	30.3%	40%

直接目標
市民の支え合いを中心としたコミュニティ形成を支援する

市民の実感
※他政令指定都市と
比較して目標設定

施策ごとの成果指標：町内会・自治会加入率

客観的指標

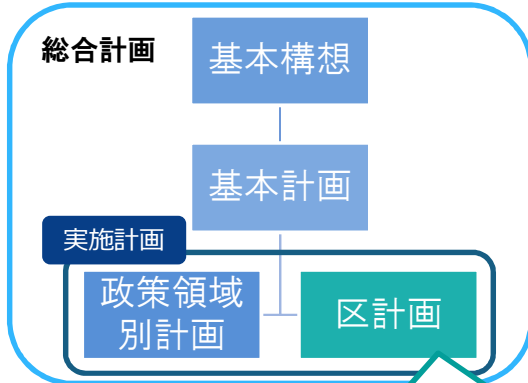


資料：住民組織調査

区計画

区計画の目的と位置づけ

地域の魅力や特性を活かしながら、複雑化・多様化する地域課題の解決に向けた参加と協働によるまちづくりを進めるため、実施計画において、7区それぞれの特性に応じた区計画を策定します。



「区の現状」と「課題」や、それらを踏まえた「中期的なまちづくりの方向性」、そして、参加と協働で行う地域課題の解決に向けた「主要な取組」などを記載する予定です。

新たな総合計画の推進に向けて

計画の推進に向けた考え方

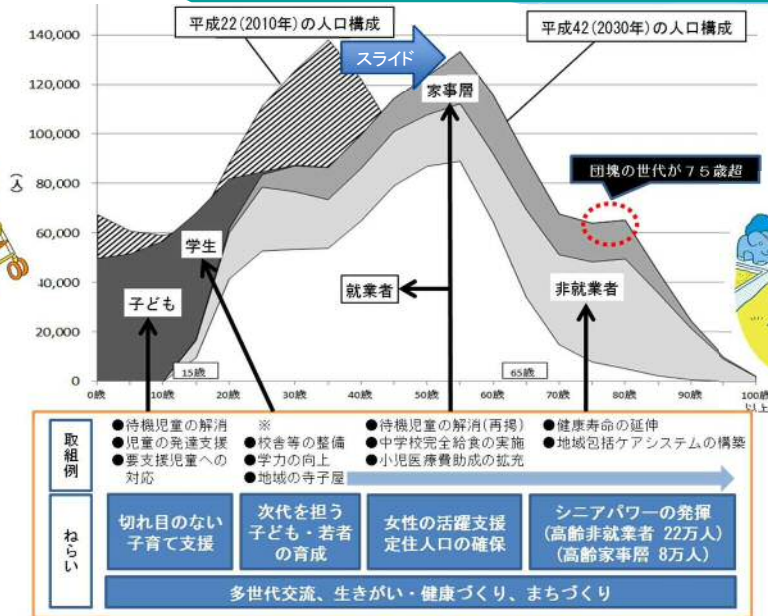
本市のめざす都市像を実現するため、新たな総合計画を着実に推進する必要がありますが、少子高齢化の進展などの社会経済状況の変化を踏まえ、次の6つの考え方に基づいて計画を推進します。

- 1 少子高齢化などの人口構成の変化への対応
- 2 多様な主体との協働・連携
- 3 市民主体のまちづくりに向けた自治機能の強化
- 4 「持続可能な最幸のまち」の実現に向けた経営資源の確保
- 5 今後の財政運営の基本的な考え方
- 6 計画の進行管理

①人口構成の変化への対応

ライフステージ戦略

本市の人口構成は、高齢者が急速に増加する一方で若い世代が減少するなど、社会の活力が低下することが懸念されており、こうした中で、都市の活力を維持していくために、ライフステージにあわせた取組を進めていきます。



②多様な主体との協働・連携 ③自治機能の強化

市民自治に向けて

さまざまな地域課題の解決に向けて、多様な主体との協働・連携によるまちづくりを進めるとともに、大都市制度改革や区役所機能の強化、自治体間連携を推進します。



多様な主体との協働・連携

- 地域人材のコーディネート
- 地域人材の発掘・育成 等

大都市制度改革の推進

- 事務権限の移譲や規制緩和など、新たな大都市制度の創設に向けた取組

区役所機能の強化

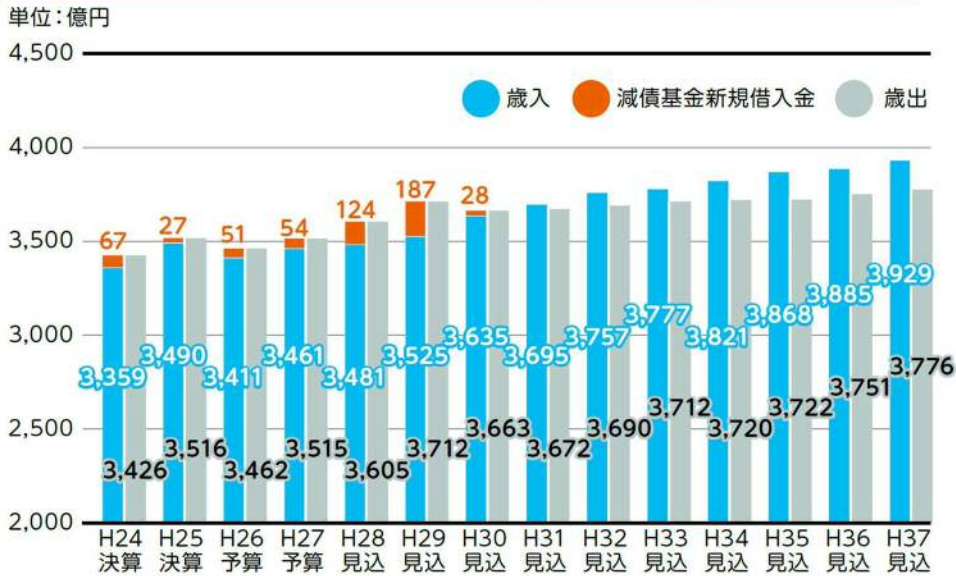
- 身近な市民サービスを身近なところで提供
- 多様な主体の連携をコーディネート

自治体間連携の推進

- 近隣都市や相互に強みを活かせる都市との連携

④経営資源の確保 ⑤財政運営の基本的な考え方

近年の財政状況と今後の収支見通し(一般財源ベース)



④経営資源の確保 ⑤財政運営の基本的な考え方

行財政改革の推進

新たな総合計画を着実に推進するとともに、市民満足度の高い市役所を構築するため、行財政改革を推進するとともに、財政の健全化による、持続可能な行財政基盤の構築の両立に向けた財政運営を進めます。

経営資源の確保

- 市民サービスの「質的改革」の推進
- 市役所内部の「質的改革」の推進
- 効率的・効果的な行財政運営による「持続可能な最幸のまち」の実現

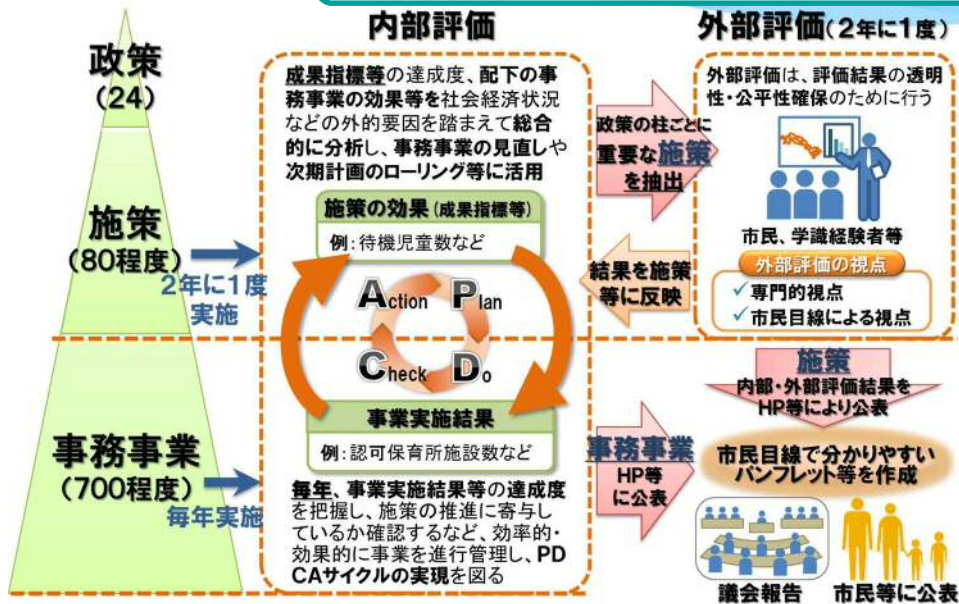
財政運営の基本的な考え方

- 効率的・効果的な事業執行の推進
- 財源確保に向けた取組の推進
- 将来負担の抑制
- 収支フレームに沿った財政運営

⑥計画の進行管理

PDCAサイクルを構築

指標を活用した評価を実施し、内部・外部の視点により検証していくことで、よりよい進行管理を実施し、新たな総合計画における効率的・効果的な施策の推進につなげます。



55

みんなで取り組もう 私たちができること

市民から市民へのメッセージ

市民から市民へのメッセージとは

総合計画に市民の声を届けるために設置した「市民検討会議」から直接、市民の皆様へ呼びかけるメッセージの形でまとめられたもので、最終的に、新たな総合計画の冊子に掲載を予定しています。

例

多世代が参加する地域コミュニティをつくらう！

川崎の子育て・教育のサービスについて、良く知り、かしこく活用しましょう。

知ろう！守ろう！自転車の交通ルール
etc...

行政として反映しにくい、「自助」・「共助(互助)」の内容を提案・呼びかけ

56

行財政改革に関する計画 の考え方と取組の方向性 について

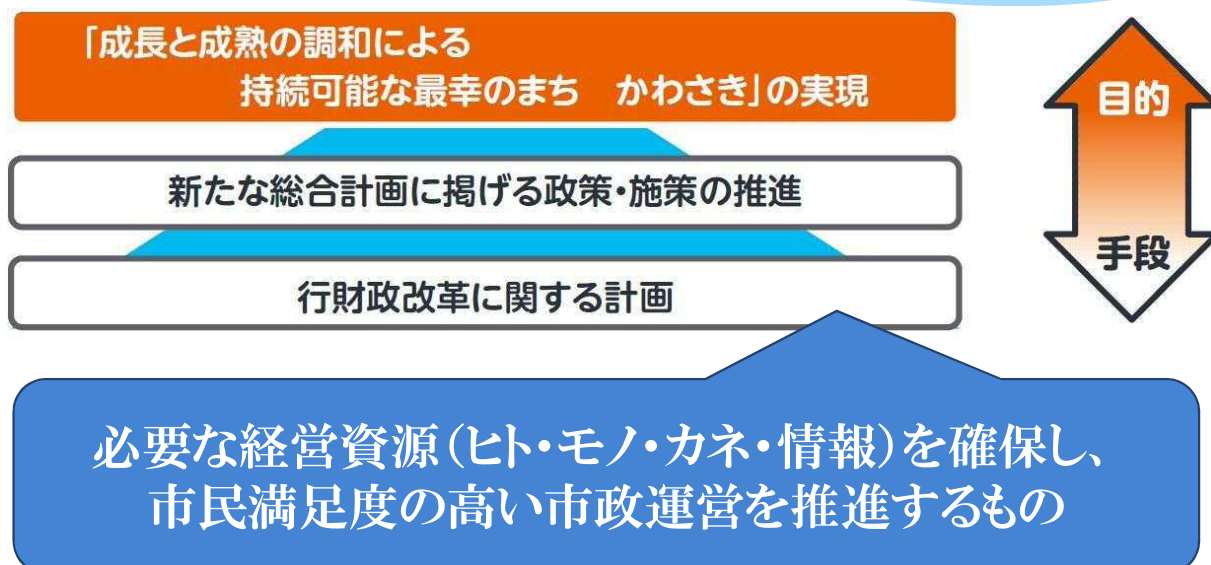
行財政改革とは・・・

自治体が行う改革の一つで、一般的に
財政面での効率化とあわせて市民サービ
スの質を向上させる取組



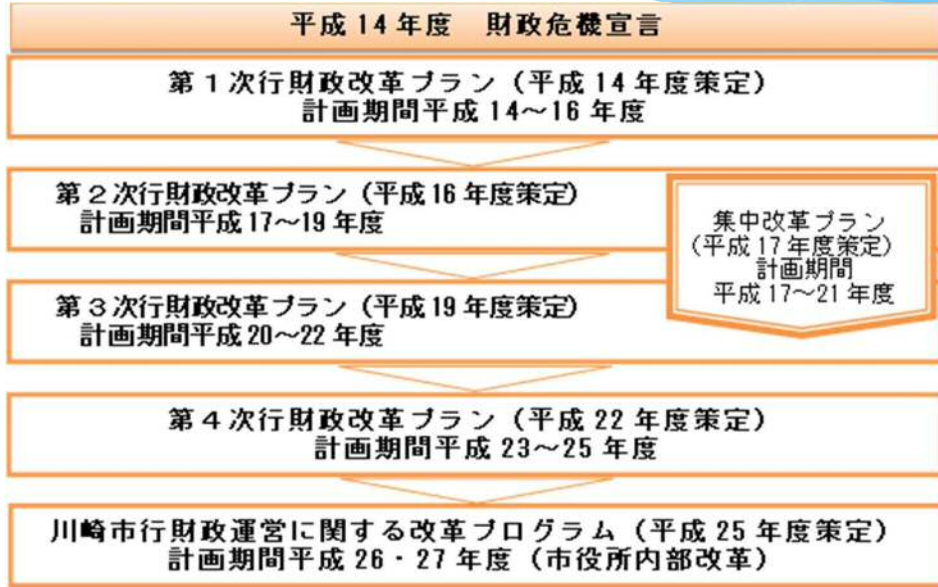
57

計画の目的と位置付け



58

これまでの行財政改革の取組



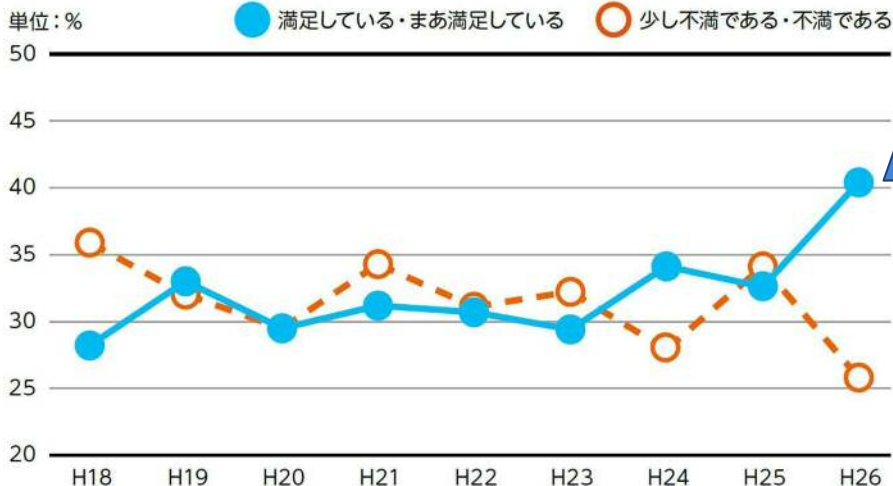
これまでは
行政のスリム
化が主体
⇒約3,000
人の職員数
削減

取り巻く環境の
大きな変化とと
もに、
さまざまな課
題が顕在化
しています。

現状と課題

(1) 市民満足度の一層の向上の必要性

「施策や事業の総合的な満足度」についての市民アンケート

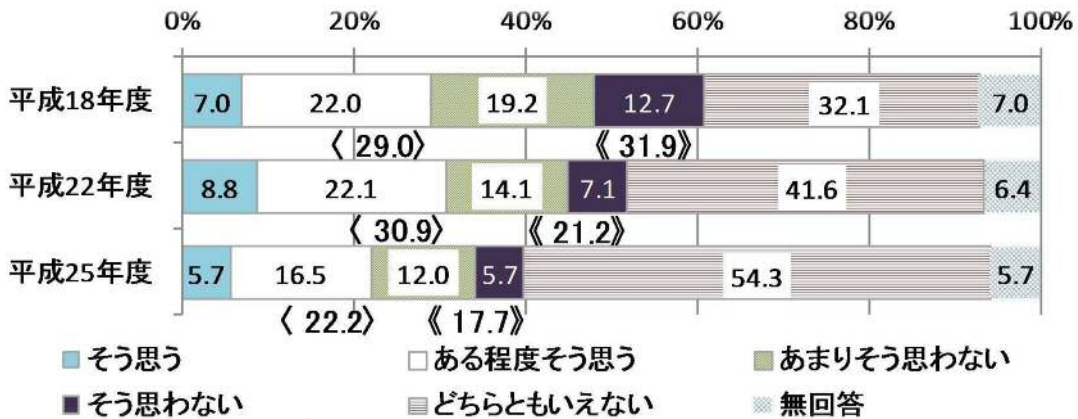


「満足している・
まあ満足してい
る」の割合は、
半数の5割に
達していない
状況です。

現状と課題

(2) 改革意識を持った職員の育成の必要性

「職員の意識改革が進んでいるか」についての市民アンケート



「どちらともいえない」が大幅に増加しています。

現状と課題

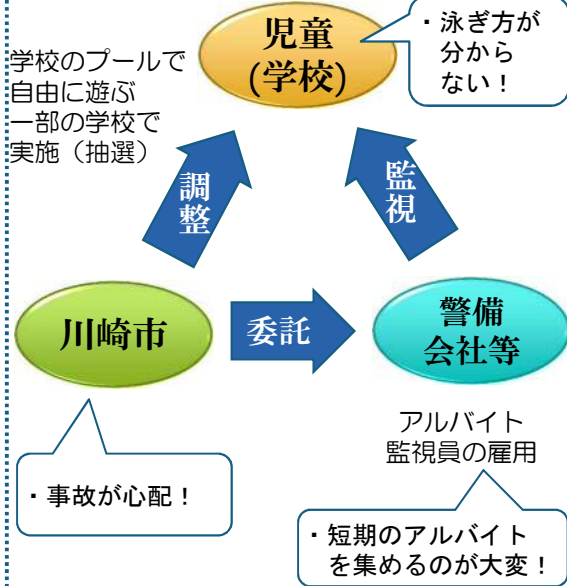
(3) これまでの改革の検証に基づく手法転換の必要性

- 今後、これまでと同程度の職員数の削減は困難であり、「量的改革」の効果は限定的 ※量的改革…職員数の削減等を目標とした改革
- 効果的な民間活用、多様な主体との協働・連携の一層の推進、効率的・効果的な業務の進め方などの視点から、さまざまな課題が顕在化
- 多様化・増大化する市民ニーズや課題に、量的改革やトップダウンによる一律的な改革手法のみで対応していくことは困難

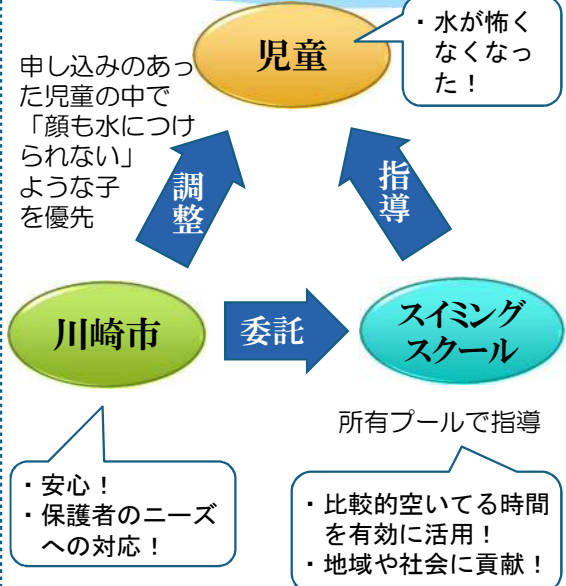
必要な量的改革は引き続き推進しながら、市民満足度の向上を目標に据えた市役所全体の「質的改革」の推進とともに、こうした取組を職員一人ひとりが自ら考え、推進していくよう、改革手法の転換を図っていく必要があります。

「質的改革」とは

今までの学校プール開放事業



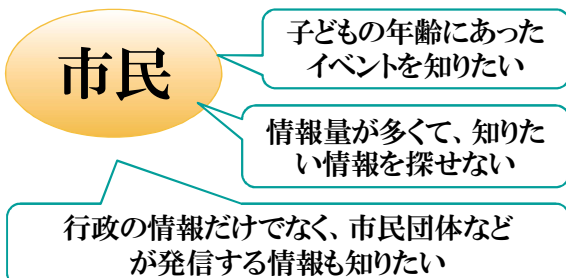
新たな水泳指導事業(H27から)



「質的改革」とは

麻生区「子育て支援アプリ」の事例

子育て情報に関する川崎市の課題



必要な子育て情報を探しにくい!

子育てに関する情報は、様々な主体から発信され、とりまとめが大変

行政

子育て情報発信の実証実験

ねらい

- ・市民サービスの向上
- ・本市の事務効率化・施策改善
- ・オープンデータ活用モデルの開発

実施概要

- ・実施期間：平成27年1月6日～2月28日
- ・実施地域：麻生区
- ・モニター数：353人

「質的改革」とは 麻生区「子育て支援アプリ」の事例

画面イメージ



- 様々な主催者によるイベントをまとめて探せます！
- 気になるイベントを「マイイベント」として登録できます！！

- 気軽におでかけできる近くのスポットを探せます！

65

行財政改革に関する計画の考え方

基本理念

1 市民サービスの「質的改革」の推進

2 市役所内部の「質的改革」の推進

3 「持続可能な最幸のまち かわさき」の実現に向けた効率的・効果的な行財政運営の推進

66

改革の実現に向けた基本的な姿勢

多様化する課題に対応した多様な改革を生み出すため、

「全ては市民のために」をスローガンとした

「だれもが」「どこでも」「できることから」の

3D改革 を推進します。

67

改革の取組

取組

1 共に支える

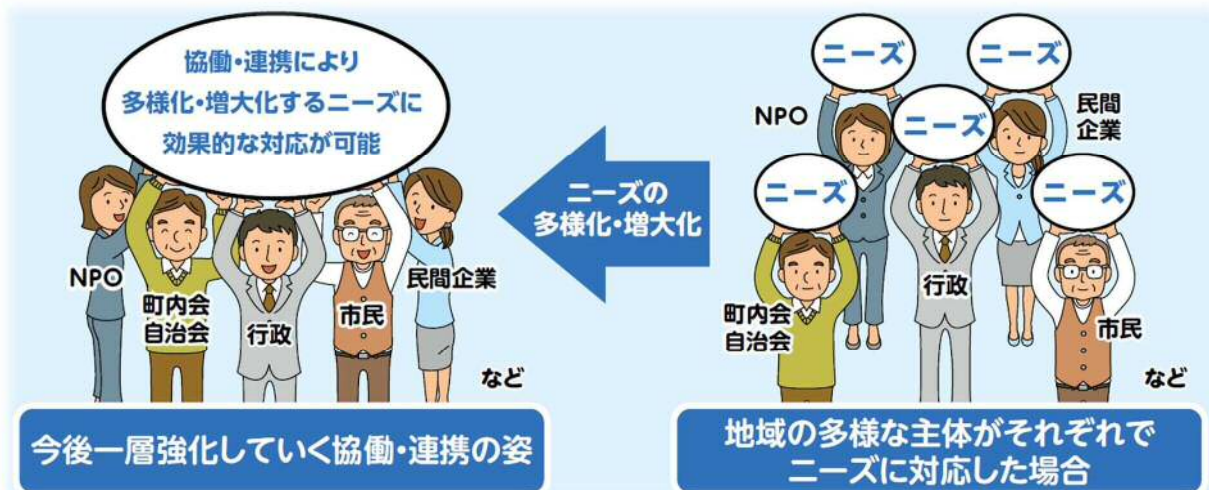
2 再構築する

3 育て、チャレンジする

68

取組1 「共に支える」

多様な主体との協働・連携によるまちづくりのイメージ



取組1 「共に支える」

- 市政情報を、積極的に、伝わるように発信し、皆様の納得をいただきながら、行政、各種団体等の多様な主体の協働・連携によるまちづくりを推進します。
- また、職員が積極的に現場に足を運び、多様な主体とともに課題解決に取り組む体制を構築します。

改革項目

- ・多様な主体が共に担うまちづくりの推進
- ・区役所改革の推進
- ・市民との積極的な情報共有の推進
- ・市民サービス向上に向けた民間部門の活用

取組2 「再構築する」

●簡素で効率的・効果的な活力ある市役所の構築や、市民サービスの再構築等による質の一層の向上への取組により、市民ニーズに的確かつ迅速に対応するとともに、持続可能な行財政運営を推進します。

改革項目

- ・市民ニーズに対応した簡素で効率的・効果的な組織整備
 - ・給与・福利厚生制度の見直し
 - ・ICTの活用による市民サービスの向上・行政運営の効率化
 - ・債権確保策の強化
 - ・戦略的な資産マネジメント
 - ・市民サービス等の再構築
- など12項目

取組3 「育て、チャレンジする」

●職員の、働きやすい、働きがいのある環境づくりに取り組むとともに、職員一人ひとりが、より良い市役所の構築に向け、常にチャレンジするよう、意識改革に取り組みます。

●協働・連携を通じ、共にチャレンジする地域人材の発掘・育成に取り組みます。

改革項目

- ・計画的な人材育成
- ・職員の能力が十分に発揮できる環境づくり
- ・職員の改善意識・意欲の向上と自発的な職場改善運動の推進
- ・地域人材の発掘・育成

今後のスケジュール

11月

- ・実施計画の主な取組・政策体系
- ・行財政改革に関する計画素案

・基本構想・基本計画上程

来年3月

- ・新たな総合計画の策定
- ・行財政改革に関する計画の策定

73

1 生命を守り生き生きと暮らすことができるまちづくり
守られて安全、つながり合って安心。

2 子どもを安心して育てることのできるふるさとづくり
住み慣れたまちで、生きられる幸せ。
子育ても、まちぐるみなら安心!

3 市民生活を豊かにする環境づくり
まちを歩けば、リフレッシュ!
気づけば誰でもエコライフ。

4 活力と魅力あふれる力強い都市づくり
世界に広がる Made in KAWASAKI!
つながる便利、ひろがる快適。

5 子どもを安心して育てることのできるふるさとづくり
子育ても、まちぐるみなら安心!
夢に向かって、ひとつ飛び!

6 誰もが生きがいを持てる市民自治の地域づくり
賑りにされるという、生きがい。
まちがステージ、みんなが主役!
まちを好きな人が多いと、まちは良くなる!

未来のための「新たな総合計画」策定中。

川崎をもっともっと住みやすいまちにするために。

「川崎って、これからどうなるの?」そんな市民の皆さんの声にお応えして、川崎の未来をイラストでご紹介、10年後も30年後も川崎がずっと暮らしやすいまちであるための、総合計画づくりが進んでいます!

74